

生徒による

科技高 いきもの記

Vol.36 2021.8.31

1年6組 下山田樹

※今回はいきもの好きの生徒に書いてもらいました

カマキリそっくりなハエ?!

カマバエ



猿江公園の池のふちにいたミナミカマバエ *Ochthera circularis* カマバエの仲間は前脚がカマ状で、顔も逆三角形だ。ハエなのにカマキリのような見た目をしている。



カマを畳んで構える姿勢も横から見るとカマキリに似ている。ただし、3mmほどの小さなハエなので、この姿勢で背面から見ると他のハエと区別できない。2021.7.28



イトミミズを捕らえたミナミカマバエ
鋭くとがったカマで獲物をしっかり挟んでいる。いかにもハンターらしいが、食べる時はただ舐めるだけ。



カマを振り上げる行動

湿地にはたくさんハエが集まっていて、他のハエが近づいてくるとカマを回して威嚇する。まるで踊っているようだ。この行動は求愛の際にも見られるようだ。



カマバエという昆虫の名前を聞いたことがある人はいるだろうか？多分、この学校だから聞いたことがある人が多いだろう。(そうだと願いたい。) 知らない人のために説明すると、双翅目ミギワバエ科カマバエ属に分類される5mmほどのハエである。田んぼのような湿地で良く見つかる。猿江公園の池にもたくさんいて、それを先生に教えたら、「いきもの記書いて！」と言われたので今こうやって頑張っている。「カマバエ」と呼ばれる中にも何種類かあるようだが、詳細はよく判らないので、ここでは全てを総称して「カマバエ」と呼ぶ。

カマバエの特徴は、その名の通り、**鎌状になった前脚**だが、顔付きもまるでカマキリのように逆三角形をしている。もちろん、これはカマキリに擬態しているわけではなくて、類縁関係とは関係なく生態的な目的でよく似た形態になる**収斂(しゅうれん)進化**というものだそう。例を挙げると、サイ(哺乳類)とトリケラトプス(爬虫類)、フクロモモンガ(有袋類)とモモンガ(真獣類)などだそう。これならばなんとなく想像できるだろう。

話を戻す。このカマバエ、**とにかく行動が面白い**。まず、口だ。食性が肉食であるため、顎もそれに特化しているのかと思いきや、普通のハエと同じように**舐めることしかできない顎**である。刺したり噛んだりしないのが不思議だ。また、2匹が向かい合ったと思ったら、いきなりカマを振り上げて、ぐるぐると前足を曲げ伸ばしし始める。なんだなんだと思っていたら、片一方が後ずさり。なんだケンカかと思っていたら、向こうでは何やら恋が叶った様子。

子。踊りでケンカし、時には踊りで恋を叶えるとは、どこぞのアニメキャラクターかと(そんなアニメは知らないが)、少々、いやかなり見入ってしまった。恋にお悩みの方は気晴らしにこのカマバエの踊りをやってみてはいかがだろうか？

そんな話はさておき、小さな生き物でもじっくり観察するとその生きざまは実に面白いことが分かる。たまにはスマホから目を離して、こんなヘンテコな昆虫の世界へ足を踏み入れてはいかがだろうか？

文・下山田樹 写真・佐藤龍平